

平成18年12月26日

各位

上場会社名：JFEコンテナ株式会社  
代表者名：代表取締役社長 谷口勲  
本社所在地：兵庫県伊丹市荒牧字下鍵田10番地  
コード番号：5907  
上場取引所：大阪証券取引所 市場第二部  
問い合わせ先：企画部長 奥津伸司  
電話番号：072-780-6105

### 西日本地区の生産体制の再編について

JFEコンテナグループは、2003年4月に(旧)川鉄コンテナと(旧)鋼管ドラムが経営統合して以来これまで、JFEコンテナ単体の千葉・川崎・堺・伊丹・水島の5工場、JFE協和容器の新潟工場を合わせて国内6工場体制により鋼製ドラム缶の製造、販売を行ってまいりました。

このたび当社は平成18年12月26日開催の取締役会において、より効率的かつ競争力のある生産体制の構築を図るべく、西日本地区において伊丹工場での製造を堺工場、水島工場に移管・集約し、グループ全体で国内6工場から5工場に生産体制を再編することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

#### 1. 背景と目的

1. 近年わが国の鋼製ドラム缶市場は、主要ユーザーである石油業界・化学業界の好調な生産動向を受けて、高水準の生産・販売が続いていますが、当社の西日本地区の3工場、とりわけ近接する関西の2工場は、各々が余力を残した操業レベルにとどまっており、生産体制の再編が経営統合以来の課題となっていました。
2. 現在、伊丹工場は近隣の住宅化が進み、今後ますます環境問題への厳しい対応が求められ、長期的にはドラム缶事業の継続が難しくなっていくことが想定されます。また伊丹地区全体としてみますと、近年他社との事業統合によりペール缶工場およびガスシリンダー工場を閉鎖したことから、その跡地が遊休化しており、土地の有効活用も課題となっています。

3. このような課題を解決するために、現在伊丹工場で行っている鋼製ドラム缶生産を堺工場、水島工場に移管・集約し、伊丹工場を閉鎖することといたしました。

## 2. 移管・集約計画

### 1. 生産能力・品揃え・品質レベルの向上

生産移管に際しては、堺工場・水島工場への一部生産設備の移設、生産能力向上の設備投資および稼動時間の延長等を行います。化成処理の種類も増やし、缶内清浄度・品質レベルのさらなる向上対策、検査の強化も行います。

上記の方策により生産能力・品揃え・品質レベルの向上を図り、今後の生産量増加のニーズにも充分応えられる生産体制を構築してまいります。

### 2. 生産品種の移管

伊丹工場から堺工場・水島工場への移管・集約に際しては、地理的条件を考慮し、最適な配分を行います。

堺工場には主として特殊ドラム缶を移管します。今後同工場は多品種を生産する高生産工場となります。

水島工場には大部分の量を移管します。今後同工場は製鉄所に隣接するメリットを最大限生かし、稼動体制を柔軟にした量産工場となります。西日本地区全体のユーザーの需要増に対応できるよう生産量の上方弾力性も確保していきます。

速やかに製造工場の変更についてお客様の了解をいただきながら、移管計画を具体的に進めてまいります。

### 3. 出荷・物流の体制

製品ヤードの拡充、出荷・物流システムの改善を行い、お客様に対するデリバリーサービスの向上を図ってまいります。

### 4. 従業員

伊丹工場の従業員を堺工場、水島工場に配置転換し、十分な経験を持った従業員により品質の維持を図ります。移管先工場での教育、製造準備を入念に行い、移行時期を含めお客様に迷惑をかけることのないよう万全を期します。

### 5. 実施時期

2007年5月初旬の連休および8月の夏休み期間に必要な設備工事を行います。

工事完了後直ちに生産移管と伊丹工場の閉鎖を実施します

(8月20日を目処としています)

### 3. 関連事項

#### 1. 本社移転について

現在伊丹地区にあるJFEコンテナの本社を、2007年10月を目処に東京に移転いたします。(移転先については現在検討中です。)

#### 2. JFE製缶(株)18L缶工場について

環境負荷の軽い同社の18L缶工場(伊丹地区)は操業を継続し、本社工場(伊丹市北河原)の生産については、伊丹地区に移転・集約することにより競争力の強化を図ります。

#### 3. 伊丹地区の跡地活用について

今後JFEスチール(株)のグループ会社であるJFEライフ(株)と検討してまいります。

以上